





4/22  
(土)

# 防災訓練

## 防災教育の日

調布市職員のリーダーさんを中心に訓練が行われました。すぎもり地区協議会では健全育成や地域の方とともに、三中と杉森小に分かれて参加。今回のテーマ「マンホールトイレ設置」のほか「避難所の建物利用調査」、「調布FMの受信確認」、「受付設置」などの訓練をしました。



リーダーの立川さん



まずは校門の開け方から



マンホールトイレの設置場所

### 三中での訓練の様子



設置方法の説明



受付方法の確認



災害時の必需品ラジオ  
(調布FMは83.8MHz)



風水害時には三中・杉森小とも避難所を開設しません



仮設トイレの組立て



使用にはいろいろと工夫が必要です



長友市長と清水校長先生

### 杉森小での訓練の様子



皆で協力してブルーシートを敷きます



防災備蓄倉庫の開錠



井戸水が出るか確認中



組立て完了!



VR (バーチャルリアリティ) 防災体験車がやって来た!



6年生がゴーグルをつけて体験

3/19  
(日)

## 2023年 ペット同伴避難訓練

すぎもり地区協議会副会長 大町忠敏



コロナの感染状況が落ち着いた3月19日(日)、3年ぶり3回目のペット同伴避難訓練を実施しました。今回は災害救助犬育成の経験があるドッグトレーナー・山形寿幸さんを講師に招き、三中北側の道路で実施。46匹の犬と多くの飼い主さんが参加しました。

講師に指導していただいた内容は、災害時の心得、ケージの入り方、初歩的なアジリティ(犬が柵やトンネルをくぐり抜けてタイムを競う競技)の訓練でした。

●避難所ではケージを利用するため、犬をケージに慣れさせる手順が紹介されました。最初は覆い(屋根)を外した状態で犬をいれ、慣れてきたら覆い(屋根)

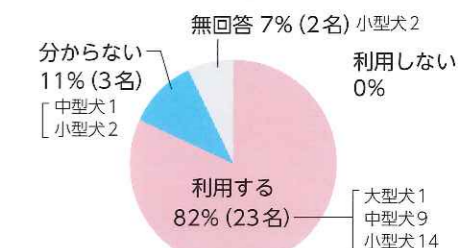
を付けて入らせるのがコツのことです。

●柵を跳び越える訓練では、顔の高さの柵を跳び越えようとする犬がいました。小型犬はジャンプする習慣がないのかもしれませんが。

●高さ1m位のトンネルくぐり訓練では、トンネルに入れない犬がいる一方、長さ5m近いトンネルを平気で通り抜ける犬もいました。

訓練終了後、飼い主さんに当日の訓練や避難所利用、要望などのアンケートを依頼、回答数は28名30匹でした。災害時避難所を利用したいという方が82%でした。

避難所など知らない場所でペットが一番落ち着くのは、飼い主が抱っこしている時だと複数の方が回答され、ペットも含め家族全員一緒に滞在したいとの希望がありました。



また新たに分かったことは、犬同士のコミュニケーションが不慣れた犬は吠え続けてしまうことでした。過去2回の訓練では、吠える犬をちょっとした工夫で静かにさせることができましたが、今回は静かにさせることができませんでした。避難所運営の検討課題となります。

その他、多摩川の河川敷にドッグランがあると嬉しいとの要望がありました。

## 『地域を知ろう』 染地地域福祉センター (染地3丁目)

### ●ボランティアまつり 『染地マルシェ』

すぎもり地区協議会は415パックのアルファ米を配布。青空の下、久しぶりに賑わいが戻ってきました。



### 災害時の困りごと トイレ問題

大きな地震の後、停電・断水したら『いつもの快適な水洗トイレ』は使えません。避難所にマンホールトイレや仮設トイレが設置されるまでには日数がかかることが予想されます。トイレの初動対応として、避難所・自宅避難にかかわらず、便器・便座にかぶせて使うタイプの携帯トイレ(便袋)を、各家庭で家族分を1週間分は備えましょう。

連載 防災コラム

備えあれば ⑨

地域ネット担当 加藤洋子

### 困った時の乾麺頼み?

7月7日は七夕、乾麺の日でもあります。七夕の行事食「そうめん」は長期間保存、短時間調理ができ災害備蓄品としておすすめです。乾麺メーカーの方のお話によると、東日本大震災の後やコロナの外出制限時には出荷量が増えたとのこと。ローリングストックの一つとして常備、ふだんから美味しく食べて備えましょう。